



平成 29 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社インベスターズクラウド
 代表者名 代 表 取 締 役 古木 大咲
 (コード番号：1435 東証第一部)
 問 合 せ 先 執行役員経営管理本部長 高杉 雄介
 (TEL. 03-6447-0651)

第 2 四半期（累計）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 2 月 9 日に公表いたしました平成 29 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想及び個別業績予想と本日公表いたしました実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 2 月 9 日に公表した通期の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期（累計）業務予想と実績値との差異について

平成 29 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異
 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,170	1,830	1,750	1,140	74.56
今回修正予想 (B)	26,454	1,925	1,866	1,214	79.42
増減額 (B-A)	4,284	95	116	74	
増減率 (%)	19.3	5.2	6.7	6.5	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	14,413	1,365	1,367	862	56.43

平成 29 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想と実績値との差異

（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,120	1,900	1,830	1,190	77.83
今回修正予想 (B)	26,419	2,023	1,947	1,266	82.82
増減額 (B-A)	4,299	123	117	76	
増減率 (%)	19.4	6.5	6.4	6.4	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 12 月期第 2 四半期)	—	—	—	—	—

（注）当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、前期第 2 四半期実績については記載しておりません。

2. 通期業績予想の修正について

平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	50,540	5,360	5,280	3,450	225.63
今回修正予想 (B)	54,840	5,460	5,400	3,530	230.87
増減額 (B-A)	4,300	100	120	80	
増減率 (%)	8.5	1.9	2.3	2.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	37,915	3,806	3,803	2,354	153.97

平成 29 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	49,920	5,340	5,260	3,440	224.98
今回修正予想 (B)	54,220	5,440	5,380	3,520	230.21
増減額 (B-A)	4,300	100	120	80	
増減率 (%)	8.6	1.9	2.3	2.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	37,894	3,854	3,857	2,403	157.17

3. 業績予想の差異及び修正の理由

(1) 平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間

(個別業績予想と実績値との差異)

日銀によるマイナス金利政策の実施などの良好な資金調達環境を背景に、不動産市場への資金流入が加速しており、このような経済環境の中、当社は、主要な事業であるアパート経営プラットフォーム「TATERU」事業において、「TATERU」の機能強化や「TATERU」の知名度の向上を図ることで、会員数の増加と成約率の維持・向上を推進してまいりました。その結果、当第 2 四半期累計期間における受注棟数が当初の想定どおり推移したことに加えて、アパート受注単価が想定を上回る水準で推移いたしました。

上記を受け、アパート経営プラットフォーム「TATERU」事業において、当第 2 四半期累計期間の売上高は、予想を上回る結果となりました。

費用面は、良好な経済環境において更なる受注の拡大を図るため、戦略的に広告宣伝費の予算枠を増大いたしました。また、当社の経営理念であります「ネット×リアルで新しいサービスを」推進するため、優秀な人材の確保・育成に精力的に取り組みました。

その結果、当第 2 四半期累計期間における営業利益率は、予想よりも約 1 ポイント下回る結果となりましたが、売上高の増加を受けて営業利益、経常利益、四半期純利益は、当初の予想を上回る結果となりました。

(連結業績予想と実績値との差異)

第 2 四半期累計期間連結業績予想の差異につきましては、第 2 四半期累計期間個別業績予想の差異に伴い生じたものであります。

(2) 平成 29 年 12 月期通期業績予想の修正

個別及び連結ともに、第 2 四半期累計期間の修正を踏まえて行うものであります。

以上